

『学生と向き合う』授業とは？

～ 授業の工夫、学生支援のヒントを探る ～

◆開催日時・場所◆

2013年 11月2日(土) 13:00～17:30 18:00～ 情報交換会
会場 岡山理科大学 50周年記念館4階 多目的ホール

◆プログラム◆

13:00～13:10 開会のあいさつ 大学コンソーシアム岡山 会長(岡山理科大学学長) 波田 善夫 氏
教育サロン発起人 名城大学 人間学部 教授 池田 輝政 氏

13:10～14:50 体験学習プログラム「あなたの学習スタイル」「記者会見」
*クラスの「場創り」を体験していただくプログラムです。ぜひ参加者の相互理解を
深める体験をしていただき、クラスの場創りに活かしていただきたいと思います。

15:00～15:50 話題提供、質疑応答 松山大学 経済学部 准教授 熊谷 太郎 氏

テーマ 「自己理解を深めることで、こんなに授業が変化した」

「経済政策論Ⅰ」なぜこのような授業に至ったのか？背景、動機を含め提供していただきます

- * 200人規模固定式大教室での学生主体の参加型授業(グループワーク)を実践
- * 1テーマ4コマで構成。学生がグループで課題を討議しながら全体発表、ふりかえりを重ねていく。
- * 1コマ目;講義 課題設定 終了後事前資料収集 2コマ目課題討議(6、7人×30グループ)
3コマ目、4コマ目 全体発表(パワポ作成) 見やすい資料の作成、他者に伝える力の涵養
グループワークをすることで知らない人とどうやってコミュニケーションを取るのか？
どういプロセスで進めるのか？ など、社会人基礎力がつくように授業設計されています。

16:00～17:25 話題提供からのグループ討議、全体共有

17:25～17:30 閉会のあいさつ 岡山理科大学 FD推進室室長 北川 文夫 氏

◆教育サロン発起人 名城大学 人間学部 教授 池田 輝政 氏

【プロフィール】専門は高等教育経営学、教育学。九州大学大学院教育学研究科博士課程満期退学。教育職員の高度化を目的とする大学院(大学・学校づくり研究科)を立ち上げ、国公立の大学教員のための授業開発研修会、大学および高等学校の指導層への経営プラン作成研修会に赴くなど、教育と経営の両分野の課題解決に向けて指導とコンサルティング活動を行う。国立大学協会大学評価専門委員ほかを歴任。著書に『成長するティップス 先生—授業デザインのための秘訣集』(戸田山和久・近田政博・中井俊樹と共著)など



◆話題提供者 松山大学 経済学部 准教授 熊谷 太郎 氏

【プロフィール】専門:法と経済学、ゲーム理論、経済政策論
担当科目:経済政策論、経済政策論Ⅱ、公共経済学、ミクロ経済学入門、演習など
2007年に『自己の探求』プログラムに出会い、自己理解・他社理解の大切さ・重要性を認識する。それまでの講義は一方的で、わかりやすく教えれば良いと考えていた。したがって、理解できないのは学生の責任で、勉強不足であると思っていた。今から考えると、講義は知識伝達に重点を置いていた。2010年から『自己の探求』プログラムのファシリテーターを学内や他大学で担うことで自己理解が更に深まった。2012年から本格的に講義内容の改革に取り組み、今年が2年目。教員こそ「自己理解を深め」「学生との関係性」に注目し、「授業を変化させることが重要」と考えている。



◆お申込み・お問い合わせ◆

- ①ご所属(大学名・学部／部署名・役職名)、②お名前・ふりがな、③ご連絡先(メールアドレス・電話番号)、④情報交換会参加の有無を明記の上、裏面のメールアドレスまでお申込みください。
お問い合わせはお電話でも受け付けております。

◆参加費◆ 無料 (情報交換会のみ別途 4,000円)

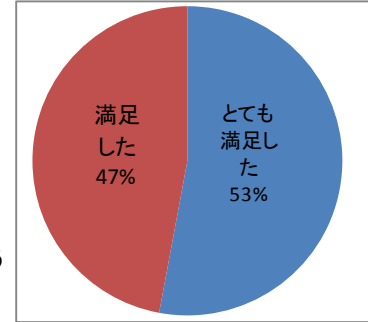
第1回九州教育サロン 2012年9月2日(日)12:00~17:30 38名参加

11月2日開催予定のプログラムと同じ内容でのアンケート集計です

【話題提供者】 松山大学 経済学部 准教授 熊谷 太郎 氏

「自己理解を深めることで、こんなに授業が変化した」

Q.本日のサロン満足度について



Q.プログラム「学習スタイル、記者会見など自己理解を深める体験」について感じた事を
ご自由にお書き下さい

- ☆とても良いプログラムでした。周到に設計されていることが実感できました
- ☆グループのアイスブレイク効果はさすがです
- ☆教員の皆さんと取り組んだのは初めてでしたのでよい経験になった
- ☆とても面白かったです。自己探究のプログラム全体を経験したいと思いましたし、私の大学の学生たちにも経験させたいと思いました
- ☆「何が始まる?」「どんな場になる?」といった不安がとれて、受け容れる雰囲気ができたと思う
- ☆いつも思うが、やる人によっていつも感じが違う。今日もその点で、貴重な体験ができた
- ☆コミュニケーション力を上げるのに良い方法だと思います
- ☆これまでに体験したことのないことで緊張しました。学生同士の関係構築には応用できそうな気がしました
- ☆十分参考にできる体験であった。利用してみたい
- ☆とても楽しく経験させていただきました。大学のゼミでもやってみようと思います

Q.プログラム「熊谷先生からの話題提供」について感じたことをご自由にお書き下さい

- ☆新しい教育づくりに勇気をもって邁進されていることに嬉しさと、応援したい気持ちが湧いてきました。いろいろと参考になりました
- ☆200人規模での実施は初めて聞きました。熊谷先生の話だけでなく、池田先生の「信頼」のお話を伺って一層納得しました
- ☆実践されていることのパワフルさを感じました。熊谷先生の授業や学生に向かう気持ち、学問に対する姿勢がプレゼンスとして学生に伝わること、それを支える構成、しかけ、など勉強になりました
- ☆アクティブラーニングの重要性を再確認することができました。自分の授業でも熊谷先生が取り組んでいることを参考にして、新しい授業作りをしたいと思いました
- ☆大学の教員が熊谷先生のような自覚をされるのは、大変大切だと思いました。私も同じ方向で授業を考えていると思います
- ☆「過去と他人は変えられない。未来と自分は変えられる。」はコーチングで大切にしている考え方で、全てはこのことで、解決するなど再確認しました。具体的な方法、資料いただき、ありがとうございました

Q.プログラム「話題提供からのグループ討議」について感じたことをご自由にお書き下さい

- ☆この回のメインで一番充実していた時間でした。様々な考え方を聞いて楽しい議論でした。片寄らないことが最も大切だと思います
- ☆本日のテーマである「学生と向き合う」様々な教員の目線、考え方を感ずることができた。自分にとっては「教員と向き合う」課題もある
- ☆それぞれの方のお考えに触れる貴重な機会となりました。ただ、話を聞いて終わらず、この時間があつたことで深まりました
- ☆各大学の先生方が、いかに学生の動機づけをするか、思い悩んでおられることを実感できた。全員の学生を満足させ、学生生活を充実させることは本当に難しいと感じました
- ☆他大学の他分野の先生方、また事務の方とお話しできてとても有意義でした。ほかのグループの先生方とも交流できればいいと思いました

◆会場案内図◆



◆お申込み・お問い合わせ◆

大学コンソーシアム岡山 事務局 (岡山市北区理大町1-1 岡山理科大学内)
Email: office@consortium-okayama.jp Tel/Fax:086-256-9771

◆交通のご案内◆

- ・バスをご利用になられる場合「岡山理大線 岡山理科大学行き」岡山駅西口から岡電バスをご利用ください(約20分)
- ・お車の場合、右記の駐車場 P1~P4のいずれかをご利用ください
駐車場には限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください(駐車場から会場まで徒歩約8分)